



JPI催しのご案内

**2026
9**

公益社団法人日本包装技術協会

— 2026年度の本催しについて —

2026年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時 ①令和8年9月 1 日(火) 14:00～15:00 / ②令和8年9月17日(木) 10:00～11:50
③令和8年9月18日(金) 14:00～15:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

①令和8年9月1日(火) 14:00～15:00 JPI西日本支部主催

【テーマ】避難所向け段ボール製「防災用パット！ベッド！」の開発 ～工業包装技術を活用した防災用品開発事例～

2022年に包装管理士講座の論文として取り組んだ「避難所向け段ボール製『防災用パット！ベッド！』の開発」について紹介します。開発のきっかけは、自治体から寄せられた「段ボールベッドは組立てが難しく、設営に時間がかかる」という声でした。そこで、工業包装で培った組仕切構造の技術を応用し、誰でも数秒で設営できる段ボールベッドの開発に挑戦しました。本講演では、開発目標の設定から構造検討、試作・評価を経て商品化に至るまでの過程を振り返るとともに、包装技術を異なる分野へ展開する際の着眼点や課題解決への取り組みについて紹介します。

【講 師】太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 営業部包装技術課 係長 **児 玉 亜 弓 氏**

【テーマ】PTP包装工程における商標名印刷錠の検査精度向上への取り組み

プレススルーパッケージ（PTP）シートは、錠剤やカプセル剤を個別に包装するための材料であり、内容物の保護や衛生面、取扱いの利便性に優れることから、医薬品や健康食品の包装材料として幅広く使用されている。当社においても錠剤の包装材料としてPTPシートを採用しており、PTPシート用検査カメラを導入し、シートおよび内容物の異常の有無を検査している。錠剤は上流工程で全周囲検査しているが、PTP包装工程における錠剤割れ・欠け、異物の付着防止を目的として検査している。近年、医薬品の識別性向上のため、錠剤表面に商標名を印刷するケースが増加しているが、PTPシート用検査カメラの原理上、印刷部分を異物と誤認識するため、検査精度に制約があった。そこで当社では、PTPシート用検査カメラの機能を最大限に活用し、商標名印刷錠においても無印刷錠と同等の検査精度を実現した。本講演では、商標名印刷錠の検査精度向上への取り組みと、その成果について報告する。

【講 師】田辺ファーマファクトリー株式会社 生産技術センター 製剤技術2グループ **麻 生 正 博 氏**

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できません**のでご注意ください。
- ・招待メールにて**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
※ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意ください。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 令和8年9月17日(木) 10:00~11:50

JPI本部主催

【テーマ】AIディープラーニング・機械学習の基本と、包装技術への適用

最近のAI技術の急激な進歩は第四の産業革命とも言われています。またこの技術を活用して、どのように生産性を向上させるかは、全ての企業の今後の命運を決する重要な指標になっています。この講演では、第一部でAIディープラーニング、機械学習の基本的な解説を行い、さらに第二部でそれらを包装設計、包装技術の適用の場でどのように活用していけるかを分かりやすく解説します。

包装技術に携わる全ての方にとって、この講演が当該業務の生産性の向上のための一つのヒントとなれば幸いです。

【講 師】株式会社ジョブらく 代表取締役
深田ビジネスソリューションズ 代表

山 根 慎 平 氏
深 田 修 氏

③ 令和8年9月18日(金) 14:00~15:30

JPI本部主催

【テーマ】包装システムにおけるIoT標準化 ～異なる機械、言葉は揃う～

従来の包装機械はメーカーごとに独自の技術が使われており、データの共有や連携が困難という課題がありました。この問題を解決し、大手から中小企業まで活用できる「共通言語」として、日本包装機械工業会 IoT WG が策定した包装機械業界向けの標準データ交換フォーマットが「JPack-Fmt (ジェイパック・フォーマット)」です。

包装機械のIoT化において重要なのは、単に機械同士をつなぐことだけでなく、言葉やデータの意味をそろえることです。本フォーマットを用いて、運転時間や出来高などの基データを統一し、ダッシュボード上に同じ形式で可視化することで、はじめて真の「見える化」が実現します。これにより、工場・ライン・機種が異なっても同じ内容のデータとして取り込めるため、工数削減や相互ベンチマーキングといった精度の高い工程改善が可能になり、生産性と品質を同時に高めることができます。本講演では、このJPack-Fmtの具体的な仕様や特徴について、その詳細をご紹介します。

【講 師】大森機械工業株式会社 執行役員 イノベーション推進本部長

吉 岡 伸 洋 氏

技術士包装物流会からのご案内



技術士包装物流会主催：9月度研究会のお知らせ

テーマ：企業で活躍する技術者が考えるLCA・リサイクルへのアプローチ

LCA、リサイクルのような課題は一企業ではなく包装業界が一丸となって取り組まなくてはなりません。今年技術士包装物流会はフィルムメーカー、ブランドオーナーの4人の方々に本テーマの講演をお願いしています。この講演は今後私たちが進む参考になると思います。

参加費は各回1人2000円。リアル以外にTeamsでも行われます。各講演の申し込み詳細は、各回開催の2か月前に公式サイトで告知予定です。<https://www.jplcs.com/>

日 時	2026年9月7日(月) 18:00-19:30
場 所	きゅりあん会議室((東京都品川区東大井5-18-1/大井町駅 徒歩約2分)) +WEB配信
演 題	ロッテのサステナブルな容器包装の実現に向けた取り組み2026
講 師	株式会社ロッテ 中央研究所 研究情報戦略部 パッケージ研究課 チーフスペシャリスト 藤原 普夫様
内 容	ロッテは、人々が心身ともに健康で、地球環境や社会と調和した持続可能な未来の実現を目指して「ロッテミライチャレンジ2048」という目標を掲げています。私の関連する容器包装の分野では、持続可能な調達・サーキュラーエコノミー・脱炭素といった目標分野に対し、アプローチを行っております。容器包装の環境配慮設計はもちろんのこと、事業活動から出る容器包装廃棄物の有効利用や消費者との共創を通して、容器包装のライフサイクル全体での環境負荷低減を目指しています。容器包装のライフサイクルに関わるパートナーの皆様と共に実施した具体例を元に、当社の活動をご紹介します。

お問い合わせ先：担当 成田淳一 宛 Junichi.Narita@rmtohcello.com

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F

公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本

TEL.03-3543-1189

FAX.03-3543-8970

●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。

URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE